

添付資料について

■A サービス（柱状図の提供無しに診断を行う）の添付資料

①グーグルマップやヤフー地図などの地図サイトで調べたい場所にピンを立てて、「スクリーンショット」、またはPDFに「印刷」などを行い、「位置図データ」を取得して、添付してください（図-1）。



図-1 位置図データの例

②位置図データは、診断したい場所が判別できるように、最寄りの駅や公共施設、IC、道路などが入るように作成をお願いします。位置図データは複数あっても構いません。

■B サービス（柱状図を提供し診断を行う）の添付資料

①東京都や川崎市、横浜市の柱状図検索サイト（本サイトのマニュアル参照）で、診断を行う柱状図を指定し、「スクリーンショット」、またはPDFに「印刷」などを行い、「位置図データ」を取得して、添付してください（図-2）。

東京都の例



横浜市の例



川崎市の例

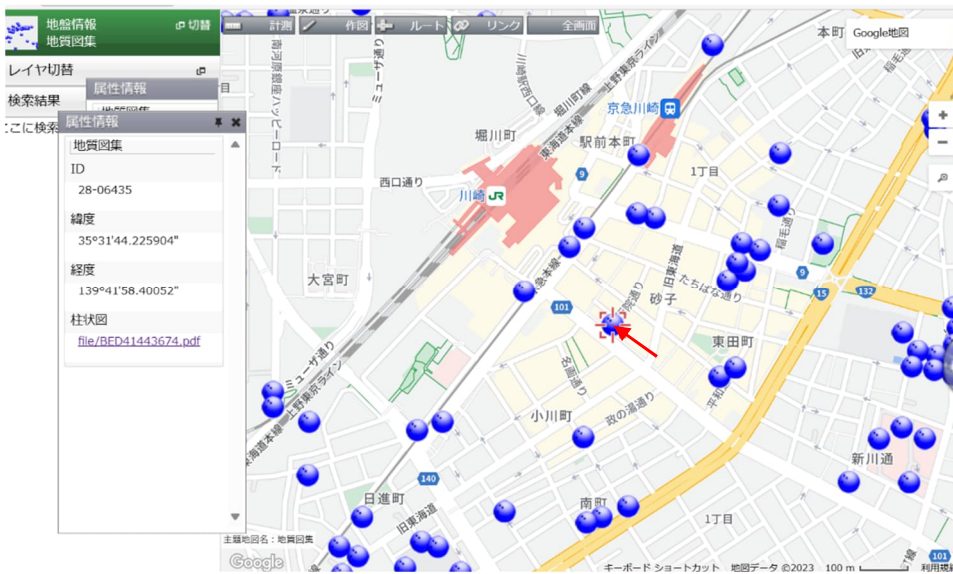
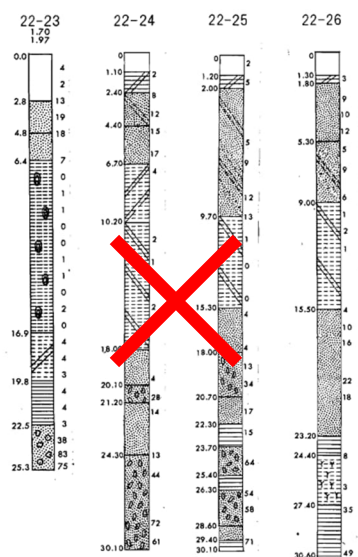


図-2 柱状図の指定位置図データの例

②実際に診断を行う敷地内でボーリング調査を実施し、柱状図データ等をお持ちのお客様は、①の方法などにより位置図データを取得、または、お手持ちの案内図などを添付してください。

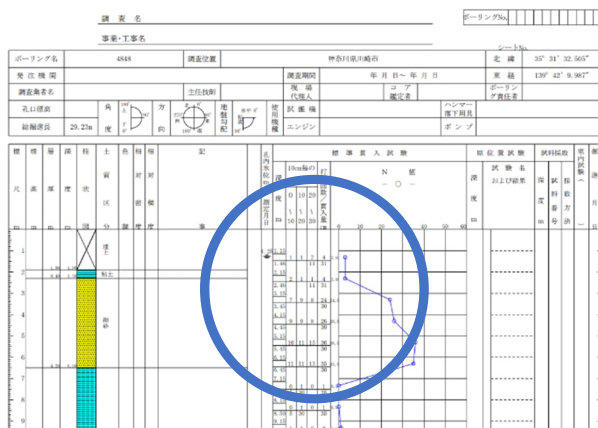
③東京都や横浜市、川崎のサイトから入手した柱状図データ (PDF) を添付してください。ただし、川崎市などで公開される下記 (×印) のタイプなど、N 値の深度や土質名がわからない柱状図では診断できません。必ず、N 値の深度や土質の明記される柱状図 (○印) を添付してください。

【注意】



N 値の深度や土質名がわかりません。このタイプの柱状図では診断できません。このタイプの柱状図は添付しないでください。

ボーリング柱状図



N 値の深度や土質名がわかります。必ずこのタイプの柱状図を添付してください。

④実際に診断を行う敷地内でボーリング調査を実施し、柱状図データのほか、室内土質試験データをお持ちのお客様は、室内土質試験データ（湿潤密度試験、粒度試験、液性限界・塑性限界試験など）をあわせて添付してください。